

## 紙の書籍 (Book) と電子書籍 (e-Book)

まつした まい こ  
松下麻衣子  
(薬学部准教授)

毎日旅をしている。正確には、本の中で旅行したり、色々な人物に出会ったり、時には過去や未来へタイムトラベル (何だか古い言葉だが) する。

最近、通勤電車が混むようになってしまったが、それでも文庫本を開いて読み始めると、周りが見えなくなり、30分の時間があつという間に過ぎて御成門駅につく。帰りもしかり。この時間は慌ただしい生活の中で至福のひとつだ。

しかし、あまりに朝の電車が混むので、数年前に、スマートに電子書籍で読んだらどうだろうと思った。家にたまっていく本の山も減るし、一石二鳥だ。早速薄いB6サイズのノートほどの端末を購入した。

しかしだめだった。使い方が悪かったのかもしれないが、どうにも違和感が拭えない。最初に試しに購入したのは映画にもなった 'Eat, Pray, and Love' だった。既に映画で観て、好きなストーリーであったが、味気ない液晶画面の文字を追っているうちに、とても人生に疲れた雑誌記者としてインドを巡る気分になれず、途中で断念した。

近年オーディオブックもラインナップが充実している。隙間時間に「本を聴く」ことは、時間の有効活用という点でも良いのだろう。

しかし、個人的にはこれも失敗だった。選んだ本が英語の勉強も兼ねようと欲張って洋書にしてしまったのがいけなかったのかもしれないが、どうにも頭に入ってこなかった。

昨年のNHKの朝ドラ「花子とアン」の中で、「王子と乞食」の美しい原書や、村岡花子さんが訳した文に添えられた素晴らしい挿絵の話が出てきたが、あのワクワク感も、紙の本ならではのものであろう (「王子と乞食」を訳した実際の経緯はドラマと少し違ったようだが)。村岡さんだけでなく、きっと外国語の本の翻訳をする方々も、原書が電子書籍だったら味気ないのではないだろうか。

芥川賞を受賞した又吉直樹さんの「人間失格」の文庫本は赤線がびっしり引いてあるとテレビで見た。電子書籍でも、好きな場所にハイライトを入れることはできるが、自分の手で引いた赤線でいっぱいになった本と、整然とハイライトが入った画面の電子書籍はやはり別物だと思う。

我々が本を読むときは、脳で文字を認識するわけであるが、おそらく、液晶画面上の「文字を読む」ことと、紙の本を手を持って読む、という行

為がセットになった「本を読む」ことは、脳の認識する仕組みが違うのではないかと思う。少なくとも私は「紙の本を読む」ことで初めて、本の世界に入り込めるらしい。というわけで、特に文芸小説においては紙の本が手放せない。

勿論、サイエンスの論文を検索する場合は電子媒体の方が便利だ。私も、仕事で論文を検索するときには、専らe-Journalにお世話になっている。昔、信濃町のメディアセンターの書庫で一つ一つ論文を探していたことを思うと、圧倒的に効率が良い。

それでも、教科書などの成書はやはり図書館に置いてある本を借りて使用するし、論文雑誌も、頁をめくりながらあれこれ目を通すということも必要である。そういう意味で、現在は薬学メディアセンターに大変お世話になっており、訪れれば本があるという安心感に感謝している。米国には、電子書籍を主体とした医学図書館もあるそうだ。スペースの問題は解決されるだろうが、私には想像がつかない。

先日、ニューヨーク市立図書館を訪れた際、美術館の様な建物の美しさもさることながら、その蔵書を求めて多くの人々が集まる様子に感動した。しかし、ここでも、デジタル化した所蔵物や、e-Booksがアクセス可能である。PC接続用のコネクタがならび、人々がひたすらPCの画面に見入っている読書室もあって驚いた。子供用のe-Booksに至っては、アニメーションで絵が動くという。実際、子供たちはe-Booksにさほど抵抗がないようである。子供用の端末で、図書館から借りた電子書籍を読むことも可能となっている。また、教科書など教育分野では今後さらに電子化の動きが加速しそうだ。

現在、日本で電子書籍の利用者は約2割だがというが、端末の進歩、普及に伴ってこの割合が増えていくと考えられている<sup>1)</sup>。情報を効率的に得る、という点から有用であるし、若い世代の活字離れを防ぐ効果もあるかもしれない。

しかし、効率だけで説明できない何かがある気がしてならない。単純に情報を得ることが主目的の場合は電子書籍、そうでない時は紙の書籍、など両方の良いところを使い分けていくのが賢いのだろう。

というわけで、今日も私は文庫本を鞆に忍ばせる。

1) 総務省平成26年版情報通信白書  
(<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h26/html/nc141120.html>)